

令和7年度地域連携推進会議 施設訪問記録

1. 開催日時 令和7年12月4日（木） 11:45～12:30
2. 訪問先 優徳荘
3. 参加者 構成員～利用者2名、利用者家族1名、地域住民代表者1名
推進員～施設長、サービス管理責任者、総務課長、生活支援員、事務員
計8名

4. 実施内容

(1) 活動棟（陶芸棟・吊り子棟）・交流ホーム見学

各作業工程や使用している機器等について説明を行う。陶芸に関しては、11月に見学者の受け入れも行った。作品は地元の自治会祭などで販売を行っている。交流ホームでは、冬季間の運動や手芸活動、毎月の誕生会などの行事をする際に使用していること、夏の暑さ対策としてエアコンを導入していることを説明する。

(2) 居住棟見学

多目的室や利用者の居室、風呂等の見学をする。風呂に関しては、地元の温泉と同じものを使用していることを説明する。

○質問・意見・感想等

- ・陶芸のカップを使っているが、もう少し底が広いと安定すると思うとのアドバイスをいただく。
- ・優徳荘ではカラオケの機械はないのか。
→コロナ禍に機器のリースはやめてしまったが、簡易的なものを導入して誕生会などにカラオケができるよう対応している。
- ・停電時の発電機はいくつあるのか、また、電源はどう使っているのか
→停電時の発電機はスプリンクラーの発電機の他に3台用意している。施設の入り口付近からつなぎ、屋内では停電時に使用できるコンセントを分かりやく赤色にして各所に設置している。また、200ボルトの電源は発電機対応が難しいので、厨房の冷蔵庫などは全て100ボルトのものへ変更し、非常時には発電機で電源が確保出来るようにしている。

以 上